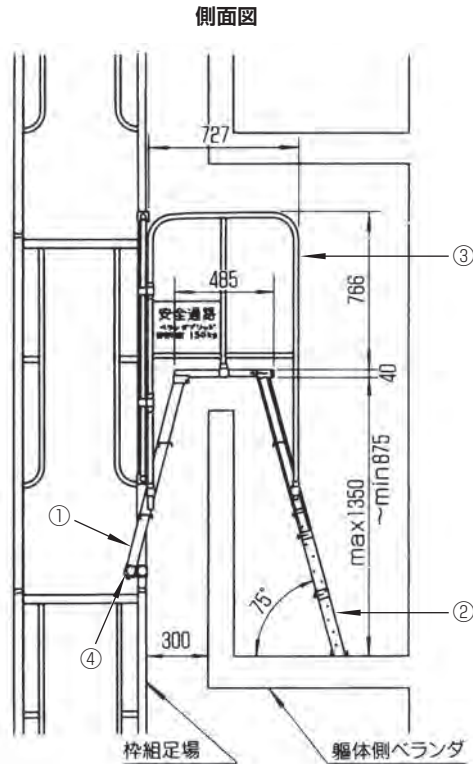


枠組足場より建築躯体のベランダへ、安全に出入ができる専用ブリッジを御利用下さい。

■構造及び部材構成



◆リースでは表示看板は取扱っておりません。

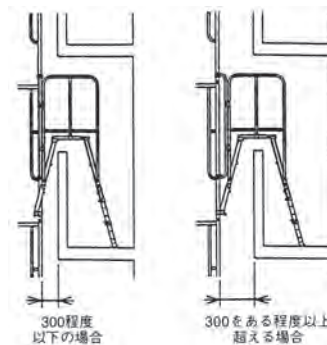
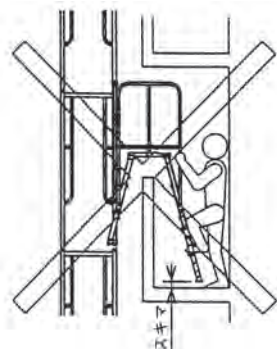
■特徴

- 用途について
従来、枠組足場と躯体のベランダやバルコニー間等の乗り越しには、単管と自在ステップ等を使用し、現場合わせで通路を構成していました。ベランダブリッジはこれに代わり、組立解体が簡単で、安全性を重視した仮設通路です。
- 使用上について
 - 取り付けする枠組足場は、1829と1800のどちらのスパンにも使用することができます。
 - 足場側の床レベルにより、上下どちらからでも昇降することができます。
 - 本体両サイドの手摺が大きいため、昇降時の手がかりが手元近くにあり、安心して通行できます。
 - 足場側の手摺は上下スライド式なので、使用位置に合わせて、作業者を安全にガードします。
 - 手摺壁の型枠組立て、解体の際も、盛り替えしないで使用することができます。
- 組立解体等について
 - ベランダブリッジは、ラチェット1本で組立、解体できます。
 - 部材は、一番重いものでも約15kgなので、作業が楽に行えます。
 - クランプ、ボルト、ピン以外は全体を溶融亜鉛メッキにしていますので、耐久性に優れています。また、クランプ等の部品が破損した場合でも、交換が可能です。
 - 各部材ともバラの状態では、全てコンパクトに折り畳むことができますので、保管や運送効率の点でも優れています。

| 部 材 表 | | | | | 許容荷重 |
|-------|-----------|--------|--------|------|------------------|
| No. | 部品名 | 型式 | 数量/セット | 単重kg | |
| ① | 本体A (足場側) | SB-11A | 1 | 15.2 | 1470N (150kg) |
| ② | 本体B (躯体側) | SB-11B | 1 | 11.8 | |
| ③ | 手摺枠 | SB-12 | 2 | 12.4 | |
| ④ | 根がらみ | SB-13 | 1 | 6.8 | |
| 1セット | | | | 58.6 | |

■使用上の注意

- 使用前に、ネジ、ピン、クランプ等が確実に利いている事を、確認してください。
- 許容荷重1470N (150kg) を超える荷重は、かけないでください。
- 昇降する足場のレベルは、上下いずれからでも可能ですが、安全のためできるだけ下位レベルから昇降するようにしてください。また、昇降するレベルは一方に決めて下さい。この時、昇降しないレベルのプレスは、外さないで下さい。
- 使用する場合、手摺には乗らないで下さい。
- ベランダ側の脚端が、浮いている状態では、絶対に昇降しないで下さい。
- ベランダブリッジは足場と躯体との間隔が300mm開いている時にベランダの手摺壁がほぼブリッジの中央に位置します。故にそれ以外の間隔の場合では、下図のように片寄り状態となります。(ただし300mmより間隔が大きい場合には、根がらみの取り付け方向によってこれを修正することが可能となります。約100mm)



- ベランダブリッジをセットしたスパンの両サイドのプレスは、取り外さないで下さい。